

令和5年6月20日(火)

みやざきインターナショナルフェスタ ～ワールドテラス 2023～より  
お茶会における公立大学関係者へのインタビュー調査

調査の目的:

この調査で次回のみやざきインターナショナルフェスタに向けた引継ぎ事項を明らかにする。

現状まとめ:

5月21日(日)にみやざきインターナショナルフェスタ ～ワールドテラス 2023～(以下、国際交流フェスタ)が行われた。毎年街中などで開催されていた宮崎青年会議所主催の国際交流イベントを、今年は宮崎公立大学(以下、公立大学)を会場とし行った。イベントの今年のテーマは「共生」で、宮崎在住の外国人と共創・協働する機会をつくることで、外国人との共生を意識する市民を増やすことを目的として、公立大学茶道部がボランティアとして参加した。本番までの連絡協議会(以下、定例会)(3/15, 4/12, 5/17)と、打ち合わせ(中央公民館で4/19, 公立大学和室で4/25)を通して当日を迎えた。次回開催に向けての引継ぎ事項の参考として、公立大学側の意見を述べる機会をいただいた。

調査主体・責任者氏名/連絡先:

宮崎公立大学茶道部3年生・福原黎子/[nagasonekotetsu03j1@icloud.com](mailto:nagasonekotetsu03j1@icloud.com)

調査対象:

宮崎公立大学関係者で、国際交流フェスタに関わった人々

調査方法:

インタビュー

実査の時期:

2023/06/13 曇り 公立大学凌雲会館にてAさんにインタビューを行った。

2023/06/20 晴れ 公立大学和室にてBさんCさんDさんにインタビューを行った。

《項目I「良かった点」》

- 四席とも席がすぐに埋まり、大盛況だった
- 楽しかった。
  - あまり茶道や着付の体験できる機会はないから、貴重な体験だった。
  - 非日常だけど伝統を体験できた。
  - 思ったよりマナーや作法が多く、奥深さを感じた。

《項目II「気になった点」》

- 定例会が参加しづらかった。
  - 家から学校までが遠く、電車の時間的に参加が難しい。
  - どうしてもほかの用事と重なってしまう。

令和5年6月20日(火)

- 空気感で緊張した。
- 大盛況だったことの裏返しで、
  - 席が埋まってしまうのが早かった。さらにいろんな人を呼べたらよかった。
  - 受付をしたのに茶席に入れなかった人がいたことを、いくつか話に聞いた。
    - ◇ 西高校の生徒らが来てくれた。しかし、引率の先生が、受付で整理券をもらったにもかかわらず、始まって少し後に来た時にはもう茶席に入れなかった。
- おいしくお茶を飲む流れ
  - お湯が冷めてしまった
    - ◇ お盆に載せて同時にお菓子とお茶とが出されたが、主菓子が案外、食べるのに時間がかかった。
    - ◇ ポットや給湯器で保温していてもじわじわぬるくなる。

《項目Ⅲ「よりよくするには」》

時間:

- 一席をもう少し短くして回転を上げる。
- 定例会をできれば早めか、zoomで参加したい。

場所:

- ロビーでの、立礼
  - 椅子席でお客様の足も楽になるし、多く入れる。
  - 青年会議所の方にお点前をしていただける。
  - 給湯室と和室を控えの部屋にできる。
    - ◇ 水屋の人手が十分にあれば、たて出しもできる。

流れ:

- お茶とお菓子を別々に出す。
  - 干菓子にする。
  - あるいは小さめの、一口で食べられる主菓子にする。
- IHのコンロの上に炉の釜を乗せて、熱々の状態でお湯を注げるようにする。

総括:

さまざまな立場や側面からお話を聞いたところ; 時間, 場所の物理的な制限があったことから、その結果、おいしくお茶を飲むことが達成されなかった点があった。しかし、時間と場所, そこからお茶を飲むまでの流れへという、次回に向けた課題を明らかにすることができた。公立大学側の意見として総じて一致しているのは; お客として関わった人、あるいは運営に関わった人にかかわらず、素晴らしい経験を積むことができたということである。この場をお借りして、宮崎青年会議所の方々には改めて感謝申し上げたい。